

令和7年の授業が終了

12月25日で令和7年の授業が終了しました。

1時間目に行った全校集会の中で、校長からの話として以下のような内容の話をしました。

令和7年度としては、まだ途中で、3月31日まであるのですが、令和7年としては、この12月で一年が終わることになります。

12月になると京都の清水寺で、今年の漢字、一文字が発表されるようになり、一週間くらい前に、今年の漢字が報道されていました。

今年の漢字は「熊」だそうです。

夏以降、全国各地で「熊」に関するニュースが多くありましたから、なんとなく今年を象徴する漢字なのかなあとも思います。

皆さんならば、今年の漢字、一字と言われたら何を選びますか？

私は、「辛」という字を選びます。

決して、追浜中学校に着任したことが「辛い」というものではありません。皆さんと出会えたことは、私にとっては、とても喜ばしいことです。

ただ、今年の1月1日からを振り返ると、自分の中では「辛い」事の方が多かったように感じています。

ですが、辛いときにいつも思い出すこともあります。もう30年近く前のことですが、私が教師として駆け出しだった頃に先輩から言われたことで、「辛」に一本加えると「幸」という字になる。

「辛い時ってというのは、幸せの一手手前なんだ」「だから、自分自身を信じて、今できることを全力で取り組みなさい」と言われました。その言葉を信じて、その時その時、私にできることを全力で取り組んできたと思っています。

ちょうど本校の学校教育目標である「美しく生きる」と重なる所も多くあると感じています。何事も前向きに取り組むこと。誠実に人や事に接すること。失敗をしてしまったとしても重要なのは、同じ失敗を繰り返さないことだと思います。

来年は「幸」を選べるようにしたいと思っています。

皆さんも、夢や希望を思い描きながら、新しい年を迎えてほしいと思います。

夏休みと比べるととても短い冬休みですが、充実した年末年始を過ごしてください。